

1 経歴

私は、(職歴や学歴、退職後の活動などコロナ以前の状況を具体的に(例)〇〇社の〇〇課〇〇として働い、or〇〇社を定年退職し以後は〇〇し、or主婦として子供を育てながら家事にいそしんで) ておりました(おります)。

私は、(就職の経緯や入学前の状況など、コロナ以前の状況以前の状況(例)〇〇大学卒業後、〇〇社に入社し、このような人事異動を経て〇〇になりました、or〇〇社ではこのような事業に注力していました、or〇〇を卒業後、夫(妻)の〇〇と結婚し〇〇年に子供が生まれ〜など)。

現在も(は)、私は(現在の職業や活動、家事などの状況を端的に(例)治癒し〇〇社で勤務、〇〇の介護をしながら家事をしている、普段通りの活動をしている) しております。

2 私が受けた損害について

私は、前述しましたように、(所属など)の(役職など活動)をしており、毎日の生活をより豊かにするため、日々(活動内容)に尽力してまいりました。

しかしながら、私(罹患した人との続柄)が新型コロナウイルスに感染したことにより、私(罹患した人との続柄)は感染中の高熱や咳などはもちろん、新型コロナウイルス特有の〇〇や〇〇といった症状(できるだけ具体的に確認された症状を全てご記入ください)による肉体的な損害を被りました。

それ以上の損害として、新型コロナウイルスは治療薬やワクチンも開発途中の未知のウイルスであり、そのようなウイルスのもたらす人体への影響はいまだ解明され尽くしておらず、それゆえの再び健康に生活することはできるのかといった不安からなる精神的損害は計り知れないものでありました。

(ご家族など同居人がいる場合)私(罹患した人との続柄)の感染にともない、〇〇(同居人との続柄、私(同居人が感染した場合))とは完治するまでの期間隔離されて生活を送らなければならず、その間の生活の補助や世話などもしてもらわなければ(しなければ)ならなくなりました。

(その他生じた問題点を具体的に記入してください(例)感染した親族が死亡し、重大な精神的損害を被った、後遺症により現在も〇〇の機能が不全の状態である、感染にともない事業を一時中断せざるを得なくなり〇〇円相当の損害を出したなど)

(感染期間の重要性などあれば(例)私(〇〇)が感染したのは、〇〇年〇月の〇〇とこの大きな事業を目前にした特に重要な時期であり、私にとって自身の(やりたかったこと)のために非常に重要な期間であったにもかかわらず、かかる期間に(活動内容)が不可能であったことによって著しい影響を受けました。)

健康である権利は憲法13条、25条により保障された重要な権利であり、これは生きていく上で第一に守られなければならない極めて重要なものです。かかる健康である権利を侵害されたことで私(〇〇)が受けた肉体的、精神的及び経済的損害は計り知れ

ないものであります。